



日本胸部外科学会

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-27 テラル後楽ビル 1F

TEL: 03-3812-4253 FAX: 03-3816-4560

第4回日本胸部外科学会アジア・トラベリングフェローシップ

日本胸部外科学会アジア・トラベリングフェローシップでは、心臓血管外科・呼吸器外科・食道外科の各領域における多様な見識を共有し、医学の進歩を推進するため、2020年に名古屋で開催される第73回日本胸部外科学会定期学術集会（会期：2020年10月28日から31日）において抄録を採択されたアジア各国の若手外科医を対象に助成金を支給します。

【趣旨】

日本胸部外科学会は1948年に創設され、本邦の胸部外科領域の学会のなかでも最も古い歴史を有します。1950年代後半から始まる本邦胸部外科の揺籃期には、本会が中心となって、その発展を担って参りました。

本会では時代に見合った見識のみならず未来における胸部外科の発展に寄与するような革新的で示唆に富んだ研究に大きな関心を寄せており、学会における発表は、研究活動と相互理解を推進するために不可欠であります。本会の助成金は国際舞台における情報発信を主目的としており、本助成金をもって、個々の研究成果が幅広い視聴者のもとに届けられ、アジア諸国の医師・研究者に対話を生み出す機会を与えることができると考えております。

【主目的】

- ・心臓血管外科・呼吸器外科・食道外科の各領域において、次世代医師の、創造的・知的・専門的な成長を促すような研究を生み出す機会を提供することである。
- ・医師としての情熱をサポートし、新たな表現方法を発展させ、討論する機会を与える。
- ・国際舞台において自らの研究を発信し、視聴者層を拡大する機会を与える。

【評価基準】

独創性：想像力に富み、挑戦的な発想の基礎研究または臨床研究であること。

重要な意味を持ち、自立的な思考であること。

進歩的な研究方法であること。斬新で独創的なアプローチであること。

影響力：胸部外科に大きく貢献する研究であること。

知識を深化させ、将来の研究を促進するものであること。

未開拓の領域への関心を高めるものであること。

【応募資格】

- ・ アジア心臓血管胸部外科学会に所属しているアジア諸国に在住の医師であること。
(発表は英語で行っていただきます)
- ・ アジア諸国出身者で、一時的に海外(ただし日本は対象外)で就労または修学している医師または研究者は応募資格を有する。海外在住の日本人医師は応募できません。
- ・ 応募者は第73回日本胸部外科学会定期学術集会に応募した抄録番号を記載すること。
- ・ 何らかの理由で筆頭著者が学術集会当日に参加不能となった場合には、共著者のうち一人が代わりにトラベル・グラントを受け取る資格がある。その場合には、発表当日にしかるべき委任状を日本胸部外科学会に提出することが求められる。

【助成内容】

- ・ 旅費助成：一人50,000円、計20名。
この助成金は旅費と宿泊費の助成として使用いただきます。
- ・ 参加費が無料となります。

【必要書類】

- ・ 申請書(応募した抄録番号、従事する専門領域に関する事項等も記載した書面)
- ・ フェローシップへの候補者として選出された応募者に対して、所属機関の責任者からの推薦状を後日要求しますので、その推薦書を下記の学術集会事務局までメールで送付していただきます。その受理を経て最終決定とします。

【応募方法】

応募資格を満たす候補者は、**2020年5月8日(金)**までにウェブサイトより、抄録を登録のうえ、当サイトより申請書をダウンロード・記入し、学術集会事務局まで申請書を送付してください。

申請書送付先：学術集会事務局 (jats-gakkai@umin.ac.jp)

【選考方法】

国際委員会・本学術集会会長・分野会長にて候補者を推薦し、理事会において決定します。受賞者の発表は日本胸部外科学会ウェブサイトと及び文書にて行います。